【重点項目】２－１　資源の循環的利用　実績報告

1　１人１日当たりのごみ排出量の削減目標

【目標指標】

指標名	現状値 令和６(2024)年度	目標値 令和９(2027)年度
１人１日当たりのごみ排出量	1,074g	970g

※郡山市一般廃棄物処理基本計画より

※令和６年度に「郡山市一般廃棄物処理基本計画」を改訂し、ごみ排出量算出の計算式を全国で使用されている環境省の計算式に変更。
令和９(2027)年度ごみ排出量の目標値「910ｇ」⇒「970ｇ」

2　令和６(2024)年度の実績

指標名	令和２(2020)年度	令和３(2021)年度	令和４(2022)年度	令和５(2023)年度	令和６(2024)年度
１人１日当たりのごみ排出量	1,190g	1,183g 2020年度比　-7g	1,165g 2020年度比　-25g	1,102g 2020年度比　-88g	1,074g 2020年度比　-116g

※令和3年及び令和4年の福島県沖地震による災害廃棄物量は含まない。

3　分析と対策について

◆全体ごみ量と現住人口

年度	全体ごみ量	家庭系	事業系	住民基本台帳人口
R2(2020)	139,792t	92,188t	47,604t	321,735人(R2.10.1)
R3(2021)	138,272t	89,629t	48,643t	320,120人(R3.10.1)
R4(2022)	135,189t	87,638t	47,551t	317,992人(R4.10.1)
R5(2023)	127,280t	81,604t	45,676t	315,575人(R5.10.1)
R6(2024)	122,731t	78,557t	44,174t	312,965人(R6.10.1)

◆　令和６(2024)年度の１人１日当たりのごみ排出量は、令和２(2020)年度と比較して減少しており、５年ぶりに中核市ワースト１を脱却することができました。
　しかし、他の中核市と比べて排出量は依然として高い推移となっているため、引き続き、施策を積極的に展開し、目標の達成を目指してまいります。

◆　令和７年度から引き続き、市民総ぐるみの運動「みんなで目指す　郡山ごみ減量20%」をスローガンとして掲げ、全市をあげてのエコアクションとして様々なごみ減量に繋がる施策を展開しています。

◆　月ごとにテーマを決め、限りある資源の有効活用とごみ減量を目指して特定の行動を促す「ごみ減量啓発強化月間」による周知、啓発を実施しています。
・７月：草木乾燥月間(草木類を出す前にしっかり乾かすことを意識する月間。)
・８月：雑紙分別減量月間(紙を捨てる前に「これは資源になる紙？」と立ち止まり、分別を考える月間。)
・９月：簡易包装啓発月間(「必要以上の袋や過剰な包装を控え、簡易包装を意識する月間。)
・10月：食品ロス削減月間(「買いすぎない、作りすぎない、食べきる」を合言葉に取り組む月間)
・11月：生ごみ減量月間(生ごみを出す前のひと絞りや水切りネットの活用等、生ごみの減量を意識する月間。)
・12月：リユース啓発月間(片付けや買い替え等でまだ使える物が手放されやすい時期に、物を捨てる前に「譲る」「売る」などリユース（再使用）を意識する月間。)

◆　事業所から排出されたごみの総量や組成などを把握し、事業所が計画的に減量を進める一助とするために、事業系一般廃棄物減量計画書の作成及び提出を開始しました。